



広報 KOGA NO.16

# こが 古河



## 目次

- 2 新春を迎えて —市長・新年のごあいさつ—
- 4 古河市の行政改革
- 6 中国三河市教育交流考察団が来訪

1

JANUARY

2007



# 新年 明けましておめでとうございます

市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、新生「古河市」にとって実質的な「合併元年」と位置づけ、市民の融和と一体感の醸成のもと、新市発展の基盤づくりを主体に市政の運営を図りました。

新市の草創期ゆえ、今は発展の種まきの時期であり、しっかり目を当て、水をやり、たくましい芽を出させ、大きく育てていくことが大切であります。地道に一步一步、着実な市政の発展を図っていくことこそ、初代市長の私に課せられた使命であり、改めてその重責に深く思いをしたところであります。

さて、昨年を振り返りますと、まず、しっかりと行政運営を行うため、業務執行の要である助役を2名体制として充実を図るとともに、一層の行政改革に着手しました。

行政改革は、いつの時代も不断の努力で取り組んでいくものであり、最小の経費で最大の効果を挙げることが、当然の使命であります。一昨年9月の3市町合併は、いわば最大の行政改革でしたが、さらなる改革に徹し、時代に対応できる市民サービスの構築を図るため、行政経営の基盤強化と効率化に努めているところであります。

市民サービス面では、3市町のサービス格差の是正に努めつつ、事業の再整理に取り組みました。

自治組織の再編や類似イベントの整理・統合等、事業調整も残っておりますが、引き続き地道な努力で、発展の基盤づくりに取り組んでまいります。

ところで、日本社会はこれから団塊世代の一斉退職の時期を迎えます。自治体側から見れば、さまざまな企業で活躍し、多くの経験と専門知識を有した方々が地域社会に戻ってきます。

これからの地方自治は、知恵と工夫による地域経営の時代であり、これらの方々はその能力を十分に発揮していただくことは、今後のまちづくりにおいて、大きな推進力になるものと期待されます。

本市としましても、今まで以上に市民の皆様が市政に参画し、まちづくりの担い手としても、大いに活躍できるような仕組みと環境整備に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年が市民の皆様にとって、健康で喜びと幸せに満ちた1年となりますことを心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

古河市長 白戸 伸久

# 行政改革大綱

## 平成18年度中間報告



▲行政改革推進委員会

市では、平成18年3月に『古河市行政改革大綱』をまとめ、広報古河5月号・6月号、ホームページを通じて市民の皆さんへ公表しました。古河市行政改革大綱推進計画は、6つの方針、14の主要事項、34の施策、43の推進目標で構成され、平成18年度から21年度までの4カ年を推進期間とし、各年度における目標を掲げ、改革に取り組んでいます。今回の実績報告は、43の推進目標の改革進捗状況を、平成18年4月から9月までの上半期分として取りまとめた平成18年度中間報告です。

12月3日に古河市行政改革推進委員会に報告し、委員からの意見・提案等をいただき、最終的に中間報告書を取りまとめました。

平成18年度当初に掲げた43推進目標のうち、83.7%、36項目については達成されていますが、未達成の7つの推進目標(未実施4項目と当初作成・策定で掲げていながら検討中の3項目)については、平成18年度中に目標が達成できるよう、下半期に積極的に取り組んでいきます。

### 平成18年度9月末の達成状況

中間報告 当初目標	合計	実施済 (一部実施済・ 策定中を含む)	検討中	未実施
	43	14	25	4
実施	8	7	—	1
作成・策定	5	2	3	—
随時見直し	4	3	—	1
検討	26	2	22	2

□は未達成

### 行政改革推進委員からの主な意見

- ①古河市の財政状況を積極的に公表してほしい。そのためにもバランスシートを早急に作成し公表すべきである。
- ②職員の適正化については、役所の業務量に見合った職員数を算出し、長期的な職員採用計画を示すべきである。
- ③入札の公平性、税金の使途の透明性を確保する手段として、一般競争の入札と並行して、電子入札の導入を早急に実施すべきである。
- ④数値目標および数値結果を掲げ、市民が客観的に施策内容の進捗を判断できるようにすべきである。

## 方針別施策の進捗状況(一部)

### 方針 積極的な情報公開と市民参加

主要事項 情報の公開・提供  
施策 インターネットによる情報の発信  
推進目標 コンテンツの充実  
進捗状況

◇ホームページをリニューアル(平成18年9月12日)  
○デザインを一部変更し、利用しやすさに配慮。  
○「市長の部屋」(市長交際費や市長の行事予定などを公開するページ)を新設。  
○各種手続きや行政情報をQ&A方式で案内する「よくある質問」のコーナーを新設。



### 方針 業務の見直し

主要事項 組織・機構の見直し  
施策 施策に対応した組織・機構改革  
推進目標 組織・機構改革の実施  
進捗状況

平成18年4月に機構改革を実施…5課1室の減  
※参考(平成18年4月1日現在)本庁16部37課3室2所 古河支所21課 三和支所20課

### 方針 IT時代への対応

主要事項 市民サービスの電子化の推進  
施策 申請・届出等手続きの電子化  
推進目標 電子窓口の整備  
進捗状況

茨城県および県内市町村と共同で出資し、システムの修正および設定を申請ごとに共通化して経費の削減を図っている。また、従来は設定変更を県経由で保守業者に依頼していたものを、各市町村でも変更できるようにした。

### 方針 民間活力の有効利用

主要事項 民間活力の有効利用  
施策 指定管理者制度への対応  
推進目標 指定管理者制度導入  
進捗状況

平成18年4月から、16施設において指定管理者制度を導入済み。



### 方針 職員の意識改革、レベルアップ

主要事項 人材育成の推進  
施策 人材育成基本方針の策定  
推進目標 人材育成基本方針の策定  
進捗状況

人材育成の目的の明確化、学習的職場環境づくり等の総合的取り組みの推進、職員研修の充実・多様化、人材育成推進体制の整備等を確立するため、平成19年度実施に向けて、その取り組み方法について検討中。

### 方針 財政健全性の確保

主要事項 財政健全性の確保  
施策 財政の健全化  
推進目標 健全財政運営のガイドラインの策定  
実施計画ローリング

進捗状況  
○健全財政運営のガイドラインの策定…実施計画との整合性を図りながら、今年度内に策定・公表予定。  
○実施計画ローリング…実施計画システムを導入し、平成19年度から3カ年分の試行作業を実施した。次年度本格実施に向けて、課題整理を実施中。

【問】本庁 行政改革推進室 ☎92-3111



▲古河第二小学校の授業を見学する三河市教育交流考察団



## ようこそ古河市へ!! 中国三河市教育交流考察団

古河市では、国際性豊かなまちづくり・人づくりのため、中国河北省三河市との交流を進めています。旧総和町が平成7年から相互に交流を深めてきましたが、今回、新「古河市」が誕生して初めての来訪。11月9日から14日にかけて、李連宮三河市委員会書記を団長に、中学生18人、関係者8人、総勢26人の教育交流考察団が古河市を訪れました。

### 深まる教育交流

考察団は滞在期間中、市内の小・中学校の見学、両市の教育関係者による「教育関係者意見交換会」など、教育を中心とする交流を活発に行いました。

古河第二小学校では、まず歓迎セレモニーが行われ、その後ALTによる英語授業やパソコン室を利用した情報教育授業などを見学。授業見学の後は体育館で行われた交流会アトラクションに参加しました。古河第二小学校の児童はソーラン節や鼓笛などを披露、考察団の中学生は、この日のために約2カ月間練習した民族舞踊(高足踊り)や合唱、剣術を披露、お互いに大変感激した様子でした。

また古河第一中学校では、考察団の皆さんが実際に英語や音楽、家庭科の授業に参加。古河第一中学校の生徒と一緒に授業を受けました。家庭科の授業では調理実習で作った、できたてほやほやの「きんぴらごぼう」を試食。

考察団の皆さんから「ハオチー！（美味しい）」との声上がり、古河第一中学校の生徒たちはとてもうれしそうな様子でした。

### 友情を温めたホームステイ

三河市の中学生18人は、日本の文化や生活習慣を学ぶため、5月に三河市を訪問した古河市の中学生の家庭で2泊3日のホームステイを体験しました。5月の訪中以来、半年ぶりの再会となった今回のホームステイ。教育交流が中心となっている両市間の交流の中で、「ホームステイが日本滞在中の一番の楽しみ」という三河市の中学生たち。大洗アクアワールドや八景島シーパラダイスを見学



▲白戸市長(左)が考察団の李団長へ記念品を贈りました



▲古河第一中学校では三河市の生徒も授業に参加



▲ホームステイではホストファミリーと一緒に八景島シーパラダイスへ



▲三河市の中学生が披露した高足踊り



▲身振り手振りや片言の英語でコミュニケーションを図る学生たち



▲「歓送の夕べ」の最後にはみんなで「北国の春」を合唱

し、各家庭で心温まるもてなしを受けて、中国の家族、友人への土産話がたくさんできたのではないのでしょうか。

ホストファミリーとなった人からは、「三河市の子どもが、熱心に私の話を聞こうとする姿勢に感心しました。身振り手振りや英語などを使って、意思疎通を図ろうと努力するので、言葉の壁を乗り越えてコミュニケーションがとれました。子ども同士もすっかり打ち解けていた様子で、あと1日ホームステイ期間が長ければもっと親交を深めることができたのではないのでしょうか」という声が聞かれました。

## 楽しかった歓送の夕べ

最終日の前夜には「歓送の夕

べ」が開かれました。

白戸市長は「今宵は帰国を前にして、三河市中学生の皆さんをお迎えしたホストファミリーの皆さんと一緒に、6日間の滞在期間中の感想、思い出等を語り合い、友情をより一層深めていただきたいと思います。今後もさらなる両市の発展と両国の大きな伸展を祈念し、また市民交流を推進してまいります」とあいさつをしました。

このあと、両市の中学生により民族舞踊や合唱、空手の演武などが披露され、会場は盛り上がる一方。最後に、考察団中学生の代表として、孫玉さんから「滞在期間中、一番印象に残ったのは2泊3日のホームステイでの生活です。ホストファミリーの皆さんには大変お世話になって、自分の家と同じように感じ、一生忘れられない

思い出となりました。ホストファミリーと古河市の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。また両市の友情がこれからも末永く続くことを信じています。古河市の皆さんのことは永遠に忘れません」との感謝の言葉がありました。

古河市(旧総和町を含む)と三河市の交流は12年がたち、両市は国際友好交流都市として深い友情関係を育んできました。今後も、両市の友好関係がより幅広く、また大きな輪となって進展するとともに、中学生を中心とする教育交流がさらに発展するよう交流事業を推進していきます。

【問】本庁 企画政策課  
☎92-3111

## 叙勲 市内6人に荣誉

### 秋の叙勲

#### 旭日中綬章



青木來三郎さん  
(84歳、東本町一丁目)  
茨城県議会議員

#### 旭日双光章



椎原七男之さん  
(76歳、駒羽根)  
元総和町議会議員

#### 瑞宝双光章



並木徹郎さん  
(76歳、新久田)  
元栃木県野木町助役

### 危険業務従事者叙勲

#### 瑞宝双光章



長瀬博道さん  
(75歳、長谷町)  
元茨城県警察職員

#### 瑞宝単光章



清水一彦さん  
(61歳、東本町三丁目)  
元3等陸尉

#### 瑞宝単光章



杉山武夫さん  
(61歳、女沼)  
元3等陸尉

## 大臣表彰を受賞

### 厚生労働大臣表彰

このほど、松永康男さん(東二丁目)が、(社)茨城県薬剤師会の常任理事を25年間務めたことにより、厚生労働大臣表彰を受賞しました。



### 総務大臣表彰

このほど、小池利侑さん(原町)が、古河市公平委員会委員として10年10カ月務めたことにより、総務大臣表彰を受賞しました。



### 農林水産大臣表彰

10月27日に開かれた全国肉用牛枝肉共励会で、長島勝男さん(関戸)の枝肉が最高位の名誉賞に輝き、農林水産大臣表彰を受賞しました。



## 茨城県各種表彰

### ○茨城県表彰

- ・熊木暉二さん(67歳、大手町)  
元関東信越税理士会茨城県支部  
連合会副会長
- ・橋本マサ子さん(78歳、本町二丁目)  
元茨城県美容業生活衛生同業組  
合副理事長
- ・古河市シルバー人材センター

### ○8020はつらつライフ高齢者よ い歯のコンクール最優秀

上原千一さん(83歳、下山町)

### ○第34回花と緑の環境美化コン クール茨城県教育委員会教育長 賞(フラワーロードの部)

上大野親愛クラブ

### ○平成18年度「いばらきご近所 の底力大賞」

じゅうにひとえの会

### ○平成18年度動物愛護絵画・ポ スター及び標語コンクール 知事賞(標語)

関美穂さん(下大野小2年)

### ○平成19年度愛鳥週間用ポ スター原画コンクール特選(中 学 校) 石橋香織さん(総和中3年)



## ねんりんピックに向けてリハーサル

11月23日、「県マスターズ短水路水泳競技大会」が広域中央運動公園温水プールで開かれました。この大会は、今年11月に開催される「ねんりんピック茨城2007水泳交流大会」のリハーサル大会と選手選考会を兼ねて行われ、当日は競技とともに、大会運営等の確認などが行われました。

「ねんりんピック」とは、60歳以上の高齢者を中心とした健康と福祉の総合的な祭典である「全国健康福祉祭」の愛称です。



▲「ねんりんピック」は健康の増進や生きがいづくりを目的として開催されます

## 自然の中で宿泊体験

11月18日・19日、古河市子ども会育成連合会総和地区による子ども会宿泊体験活動がネーブルパークで開催されました。これは子どもたちに自然に親しませ、規則正しい集団生活を通して豊かでたくましい心を育てようというもの。小学3年生から6年生までの児童30人が参加してさまざまな体験をしました。

中でも、ペットボトルのロケットや風船の飛行機を作る科学体験は、子どもたちの興味をひいた様子。できあがったロケットが高く打ち上げられると、子どもたちの歓声があがりました。

この科学体験で指導に当たったのが、総和おもしろ科学の会の皆さん。この科学の会は、もともと西牛谷小学校PTAの「おやじの会」から始まった団体で、平成9年に現在の会になりました。その目的は、子どもたちの科学に対する興味・関心を高めること。「青

少年のための科学の祭典古河大会」の運営をはじめ、小・中学校での出前科学実験教室やネーブルパークでの「緑の中の科学教室」など、さまざまな活動を通して子どもたちに科学の面白さを伝えていきます。地域住民・学校・行政と連携した14年間にわたるこれらの活動が評価され、昨年の「朝日のびのび教育賞」（朝日新聞社主催）も受賞しました。

この科学体験も含めて、自然の中で仲間とともに活動した2日間は、子どもたちにとって貴重な体験となったようです。



▲総和おもしろ科学の会の皆さんが児童に分かりやすく教えていました

## みんなの手できれいなまちに

市民みんなでまちをきれいにする市民総ぐるみ清掃が、三和地区で11月12日に、総和地区で11月19日に、古河地区で12月10日に行われました。

早朝からたくさんの方が参加し、ごみ拾いや落ち葉清掃、道路側溝の清掃などを実施。皆さんの手できれいなまちになりました。



▲カーブミラーを清掃(総和地区)



▲みんなで協力してごみ拾い(三和地区)



▲落ち葉を掃いて公園もきれいに(古河地区)

## 運動で元気アップ

11月30日、八俣小学校体育館で、文部科学省の子どもの体力向上推進事業「元気アップ親子セミナー」が開催され、親子150組が心地良い汗を流しました。

午前「元気アップ体験」と題し、身体能力を伸ばすためのトレーニングやさまざまなニュースポーツなどを体験。そして午後は、会場を三和農村環境改善センターに移し、保護者を対象にした県レクリエーション協会の飯島満知子先生による「子どものからだの現状と課題」と題した講演がありました。



▲「スポーツの楽しさを肌で感じた」という参加者の皆さん

## 国際交流会

12月3日、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で、「第7回古河市国際交流会クリスマスフェスティバル」が開催されました。この交流会は、市民と外国人との相互理解のために、「国際交流のまちづくり推進協議会」が主催して行われているものです。

会場は「外国ブース」と「日本ブース」に分かれ、各国の文化や食べ物などが紹介されました。そしてステージでは、各国の歌・ダンスなどの披露やプレゼント抽選会が行われ、クリスマス気分を盛り上げていました。



▲外国人の留学生や市民の親子連れなどが参加しました

## 冬の夜空を熱気で包みました

12月2日、関東の奇祭「古河提灯竿もみまつり」が、横山町お祭り特設会場で行われました。

まつり発祥の地である横山町での開催は25年ぶり。大勢の観衆は、激しくぶつかりあう提灯の動きに合わせて声援を送り、もみ手とともに師走の一夜を楽しんでいました。



▲激しく竿をもみ合う光景は圧巻です

## 交通事故をなくすために

11月18日、「古河地区交通安全大会」がとねミドリ館(生涯学習センター総和)で開催されました。この大会では、永年無事故の優良運転者や交通安全のために尽力した人・団体などが表彰されました。また、大会の最後には大会宣言を採択し、交通事故防止を図ることを誓いました。



▲交通安全意識を持つことが大切です

### 大会宣言

1. 私たちは、「酒を飲んだら運転しない」「運転する人に酒をすすめない」を合言葉に飲酒運転の根絶に努めます。
2. 私たちは歩行者や自転車利用者、特に子供や高齢者を交通事故から守ります。
3. 私たちは、チャイルドシート、ヘルメット、前・後両部座席のシートベルト着用を徹底し、安全運転に努めます。
4. 私たちは、自らの命を守るため交通ルールの遵守に努めます。
5. 私たちは、暴走行為や駐車違反などの迷惑行為を追放し、安心、安全な古河地区の実現に努めます。

## 渡良瀬の自然を歩く

11月23日、「第37回ザ・ウォーキング&健康ジョギング」が古河総合公園を発着点に開催されました。コースは渡良瀬遊水地、市内の神社、古河歴史博物館などを巡って戻ってくるもので、距離は約15km。参加者は、渡良瀬の自然や、市内の街並みを見ながら運動を楽しんでいました。



▲ウォーキングで健康づくり

## 役立つイベントで融和をはぐくみます

133世帯が加入する上町自治会(古河地区)では、さまざまな活動に取り組んでいます。

「会員の約8割が市外から越してきた人。だからこそ、地域の和を大切にしています」と話してくれたのは自治会長の松本守雄さん。コミュニティづくりの第1歩は「情報の共有」と考え、『上町自治会だより』を全戸に配布しています。「毎月発行しているので、防災訓練やもちつき大会の案内など、知らなかったという人がいなくなりましたね。回覧板より効果的です」

会員の皆さんにとっても好評なイベントの一つとして、健康維持のために開催される「健康講座」があります。今年も古河病院の協力を得て、「検診があなたを救う」をテーマに講座を実施。参加した人は病気の早期発見・



▲防災訓練で災害への意識が高まります

健康維持のために開催される「健康講座」があります。今年も古河病院の協力を得て、「検診があなたを救う」をテーマに講座を実施。参加した人は病気の早期発見・

## 上町自治会

早期治療の大切さを実感したそうです。「なにをするにも、健康が第一です」

また、環境の勉強にと、自分たちが出したごみの最終処分場を訪れたり、ペットボトル

が洋服などに生まれ変わる再利用工場を見学したりもしています。さらに、防災センターの体験研修は、大変勉強になったそうで、自治会での訓練にとっても役立つことでしょう。

そのほかにも、日帰り旅行は、古河にない文化に触れ、その土地の歴史を勉強

しながら、知識と親睦、両方が深まるイベントとして長年続けられています。

「自治会員の皆さんが、いろいろなイベントに参加してくださり、会員同士の親睦がますます深まることを願います」と結んでくれました。

## My Hobby

### ひょうたんから漏れる柔らかい光

ひょうたんの表面に開けられた桜の花びらの形をした穴、そして中の電球をつけると外に漏れてくる柔らかい光。玄関に置けば、その光で優しく出迎えてくれる……。そんなひょうたんの照明を作っているのが横溝浄男さん(西牛谷)です。

桜の花びらの他にもみじの形に穴を開けたものや、ピーズを埋め込んだもの、ひょうたんを半分に切ってスタンドのかさにしたものなど、さまざまな照明を作っています。

横溝さんの作品は、照明ではありません。全体にラメ入りの塗装を施したもの、不思議な模様を描き出したものや、日本画を描いたものもあります。ひょうたんの形によっては、お菓子入れや花瓶など日用品として使



▲自己流で工夫をしながら楽しく作っています

横溝さんの作品は、照明ではありません。全体にラメ入りの塗装を施したもの、不思議な模様を描き出したものや、日本画を描いたものもあります。ひょうたんの形によっては、お菓子入れや花瓶など日用品として使

### 横溝浄男さん

えるものも作り出します。

「ひょうたんに絵を描いたり、色を染める人はたくさんいますが、照明にする人はあまりいませんね」という横溝さん。ひょうたんを照明にするアイデアは、京都への旅行中、陶器のつぼで照明を作っているのを見て思いつきました。

できた作品は人にあげてしまうことも多いとのこと。結婚式用に頼まれて作ったら、大変喜ばれたこともあるそうです。

横溝さんは「作品を作るのは時間がかかるし難しいけれど、作っていて楽しいですね。今後は、女性の日本画をひょうたんに描いてみたいと思っています。これがきれいに描ければ一人前かな」と話していました。

## パークライフ 《どろんこクラブと子どもたちのよろこび(古河総合公園)》

どろんこクラブは、“園内のホッツケ田とおつきあいを通じた楽しい営みづくり”、“やりたいことをみんなでちょっとずつ協力しながら実現”を目的とした仲間たちです。小学生とその親たちが中心で、子どもも親も一緒に作戦会議を設けながら、初夏の田植え、夏の流しソーメン、秋の稲刈り、民家園のかまどを利用しておにぎりづくり、冬のリース作りなど一年を通じてドラマを展開しています。

参加している子どもたちからのよろこびの声を紹介します。「学校では、やりたいことがあっても手っ取り早く多数決で決まってしまう。自分のやりたいことを話し合っ



▲「けむりがいっぱい目がかかったけど、とても楽しかった」

て(新しい自分の可能性の発見のよろこび)、「みんなで考えるのって結構楽しいし、大変さも知った」(他者とのハーモニーのよろこび)、「総合公園は何もない公園と思っていた。やってみて田んぼとか民家とかカマドとか竹林とか、いろんなものがあると実感した」(資源・楽しみ方の発見のよろこび)、「自分は地元だし、一番、公園のことを知っていると思っていた。群馬の友達をよんで、公園を案内したら自分より知っていたのに、びっくりした」(世界の広さを知るよろこび)などなど……。

みなさんも一緒に、どろんこクラブで“よろこび”

を見つけないか。

【問】古河総合公園管理棟

パークマスター ☎47-1129

## ブックレビュー =Book Review=

永井路子 著

直木賞受賞作『炎環』

源頼朝が史上初の武家政権を樹立した鎌倉時代。そこでは、当然のことながらさまざまな人間模様がありました。

同じ將軍の弟でありながら、西国で平家追討に手柄をたてる末弟を横目に、いわゆる「黒衣の宰相」を目指した者。初めての武家政権を確固たるものにするため、進んで憎まれ役を買って出た者。はたまた將軍家と二重の姻戚を結び、自家と息子の繁栄のために、結果的に夫をも犠牲にする者。そして、いつも頼りなげでありながら、押さえるところはしっかりと押さえ、最終的に勝ちを得る者……。ここに上げた人物はそれぞれ



れ阿野全成、梶原景時、北条保子、北条義時ですが、皆さんお分かりになりましたか？

これら、歴史の表舞台ではなかなか取り上げられることのなかった人物に焦点をあて、初期の鎌倉時代にさまざまな角度から切り込み、従来の歴史観を一変させた歴史小説。今回ご紹介するのは古河市名誉市民・永井路子氏の直木賞受賞作『炎環』です。

『炎環』は「悪禪師」「黒雪賦」「いもうと」「覇樹」の4つの短篇からなる連作小説の形式で、前述の4人をそれぞれ主人公に据え、初期鎌倉政権の人物模様を描きながら、鎌倉時代の実相へ迫った作品です。

この作品について、直木賞選考委員であった海音寺潮五郎は「歴史小説の正統派がはじめて直木賞を得たことを一きわよろこびとしたい」と述べ、また、同じく選考委員の松本清張は「史料の勉強家で、史料のなかから小説の題材を発見するのにすぐれた資性を持っている」と賞賛しています。

永井路子の作品を特徴づけているのは、「永井史観」とも呼ばれる独自の歴史観。それは『炎環』においても遺憾なく発揮され、鎌倉時代に対する新たなアプローチは、東大名誉教授の石井進をはじめ歴史学会でも認められました。

この『炎環』による直木賞受賞を契機に、永井路子は歴史小説家としての地歩を固めていくことになったのでした。

(古河文学館 秋澤正之)

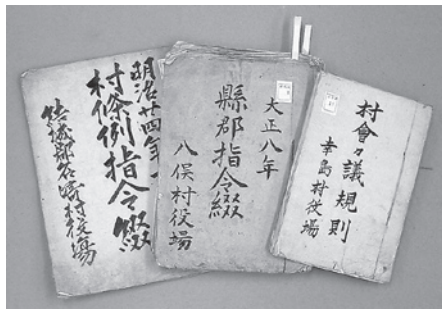
現在の古河市域が誕生する以前、旧古河市は古河町と新郷村の2町村、旧総和町は岡郷村・勝鹿村・桜井村・香取村の4村、旧三和町は幸島村・八俣村・名崎村の3村がそれぞれ合併し成立しました。

しかし、これらの旧村で作成された公文書(村役場文書)の多くは、さきの「昭和の大合併」に際して焼却処分され、現在古河市域でまとまって残されているのは、香取・幸島・八俣・名崎の4村のものだけとなっています。このうち、香取村を除く3村の公文書は、一部を除いて、茨城県立歴史館に長く所蔵されていました。

幸島・八俣・名崎村が昭和30年(1955)2月11日に合併して三和村が誕生した後、それまでの旧村の役場文書は、旧幸島村役場の石倉にまとめて保管されていました。それらが茨城県の調査で資料的価値が認められ、その後の消滅を危惧して調査者の1人が1枚の張り紙を残していったのです。その張り紙には「この石倉を整理・処分される場合には〇〇〇までご連絡を」と書かれていたのです。そして、昭和50年(1975)に実際に石倉の取り壊しが行われることになり、文書も廃棄される

ところでしたが、張り紙を見たある役場職員から連絡先に連絡があり、大量の旧村役場文書は茨城県立歴史館に緊急避難的に運び込まれて保管されることになりました。

こうした伝来を持つ貴重な旧村役場文書が、平成17年(2005)1月に当館に移管されました。文書箱にして約90箱、点数は1,245件にのぼります。



▲旧村役場文書

現在、資料館ではこの中から、明治の大合併から昭和20年(1945)ごろにかけての文書を展示しています(3月4日まで)。その当時、村あるいは村役場で行われていたさまざまな事業や業務などがわかるといいます。特に、徴兵事務など戦時中の兵事関係書類からは当時の緊迫した様子がうかがえます。

消滅の一步手前で奇跡的に保存された文書から、明治・大正・昭和の歴史のひとこまをご覧ください。また、こうした公文書が、時間の経過とともに歴史的資料としての価値を高めていくことにも注目していただければ幸いです。

燦SUN館(三和図書館資料館)

## 図書館おすすめの図書

### ◇一般書

#### ・僕僕先生

仁木 英之 著

退屈している暇はない! 不老不死にも飽きた辛辣な美少女仙人“僕僕”と、まだ生きる意味を知らない弱気なニート少年“王弁”が、5色の雲と駿馬を走らせ、天地陰陽を駆け抜ける! [日本ファンタジーノベル大賞大賞(18回)]

出版社…新潮社

分類 …913.6 二

#### ・ウィンキー

クリフォード・チェイス 著

松本 依子 訳

願いが叶い、喋ったり動いたりできるようになったティディベアのウィンキー。ところが、爆弾魔と間違えられてFBIに捕まってしまう。頼りない弁護士といっしょ

に自由を求めて闘うウィンキーの姿が思わぬ波紋を……。

出版社…早川書房

分類…933 チ



### ◇児童書

#### ・アブさんとゴンザレス

斉藤 洋 作

砂漠の中に、ひとり残された「ぼく」。謎の人物、アブさん

と旅をすることになったけれど……。言葉の読み方のおもしろさに、ハマること、まちがいなし! シュールな、新感覚ストーリー。出版社…校成出版社  
分類…91

#### ・ポポおばさんとことりたち

おおしま りえ 作

やまばとのポポおばさんが住んでいる大きな木には、たくさんのかたりの家族が暮らしています。ある日、ことりたちが楽しいピクニックから帰ると、たいへんなことが……。大きな木とことりたちのところあたたまる絵本。

出版社…大日本図書

分類…E

(古河図書館)

みんなが主役



# 男女共同 参画社会

## 新「古河市」 誕生記念 「パートナーシップin古河2006」開催 ～共に手をたずさえてハートtoハート～

11月25日、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で「パートナーシップin古河2006」を開催しました。これは、古河市男女共同参画推進委員会の主管により、男女共同参画社会の実現に向けて開いたものです。



▲加藤仁氏の講演



▲市民意識調査結果などを展示



▲全原和太鼓保存会による演奏

当日は約550人が参加。男女共同参画推進委員会によるオープニングスピーチで始まりました。ママさんブラスバンド「ままびよ隊」の演奏の後、ノンフィクション作家の加藤仁氏が講演。「夢ある人生」と題した講演に、参加者の皆さんは、じっと耳を傾けていました。そして最後は、全原和太鼓保存会の威勢のよい太鼓演奏で幕を閉じました。

演奏・講演を通して、参加者の皆さんには、一人ひとりが尊重され、個性と能力を発揮することができることの大切さを感じていただけたのではないかと思います。

### 古河市男女共同参画推進委員会による オープニングスピーチ

男女共同参画は、自らの生きがい、地域の活性化など誰にでも関連する身近な問題でもあります。市民全員に関心を持っていただき、男女共同参画の意味が誤解されないよう推進していきたいと同時に、男女共同参画条例・都市宣言など提言していきたいと思ひます。



▲あいさつする関根会長

### 参加者の声

- 講話の前にリラックスできるバンド演奏、終了後の和太鼓演奏と変化に富み、飽きずに楽しめて良い企画だった。
- 自分自身も楽しみながら、いろいろな人たちと未来の共有の時間を過ごしたいと強く思った。
- 創原太鼓がとても良かったです。
- 男女共同参画という言葉は、数年前からマスコミ等で知っていたが、今日この会で少し分かったような気がした。
- 初めて参加しましたが、意義深いものでした。
- 保育ルームはいいことです。これからも続けてください。

【問】男女共同参画室 ☎92-3111

# 国保通信

## 保険税を納め忘れていませんか？

～簡単・便利な口座振替がおすすめです！～

国民健康保険(国保)の財源となる保険税は、みなさんの医療費にあてられる大切な財源ですから、忘れずに納めましょう。

保険税は、銀行や郵便局の口座振替で納めることができます。

### ●保険税は国保の大切な財源です

保険税は、皆さんが病気やケガなどで、保険証を使ってお医者さん等にかかるときに必要な医療費の大切な財源です。保険税がきちんと納められていないと、医療費の確保ができなくなり、安心してお医者さん等にかかることができません。いざというとき、医療を受けられるために、保険税を必ず納めましょう。

### ●保険税の納付は口座振替で！

口座振替なら、毎月保険税を納めに行く手間が省けるだけでなく、納め忘れの心配もないので安心・確実・便利です。手続きも簡単。一度手続きをするだけで、自動的に継続されるので、毎年手続きに行く必要もありません。

### ●口座振替に必要なもの

納付書、預貯金通帳、通帳届け出印を持って、市指定の金融機関で「口座振替依頼書」を記入しお申し込みください。

【問】本庁 収納課☎92-3111、古河支所 収納課☎22-5111、三和支所 収納課☎76-1511

## 健康情報局

冬は寒さのために血管が収縮したり、塩分を多く含む食事をとり過ぎたりして、血圧が高くなりやすい季節です。脳卒中や心筋梗塞などは、冬に多く発症するといわれています。次のことに気をつけ、冬を健康に過ごしましょう。

### 1.入浴のしかたを見直しましょう

- ①食事のすぐ後や飲酒後の入浴は避けましょう。
- ②脱衣室や洗い場は暖め、浴槽内との温度差を小さくしましょう。
- ③お湯は40度前後に保ち、長湯は避けましょう。半身浴がお勧めです。
- ④入浴後は適度な水分を補給しましょう。

### 2.食塩は6g未満を目標に！

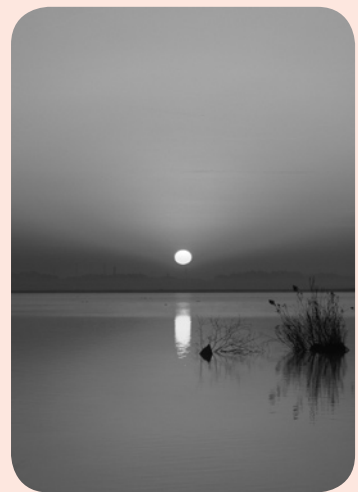
- ①めん類の汁は残しましょう。

### 《冬の高血圧にご注意！》

- ②味噌汁は具たくさんにし、汁の量を減らしましょう。
  - ③しょうゆは、食べるときにかけましょう。だしや酢、香辛料を活用するのも良いでしょう。
  - ④加工品や外食は味の濃いものが多いため、控えましょう。
  - ⑤野菜や果物を食べ、体内のナトリウムを排出しましょう。
- ### 3.運動の習慣をつけましょう
- ①日中の暖かい時間にウォーキングやストレッチ等を楽しみましょう。
  - ②体調の悪いときや血圧の高いときには、運動は控えましょう。
  - ③持病のある人は、かかりつけの医師に相談しましょう。

日ごろから、家庭で血圧を測る習慣をつけ、自分の状態を把握することも大切です。(健康推進課)

## 表紙写真



新年明けましておめでとうございます。今年も行政情報や市内のさまざまな情報を、市民の皆さんへ分かりやすくお伝えするために努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

(編集室一同)

表紙の写真は、渡良瀬遊水地に写る朝日の写真です。

## 人口と世帯

(12月1日現在 住民基本台帳から)

総人口 146,406人(-4)

男 73,413人

女 72,993人

世帯数 52,139世帯(+44)

( ) 内は前月比

ポークのエノキダケ巻き



エネルギー= 136kcal  
たんぱく質= 19.1g  
脂質= 2.9g  
塩分= 1.4g

材料(4人分)

豚モモ肉(赤身)300g、塩少々、エノキダケ160g、キャベツ100g、人参1/2本、プチトマト小8個、ポン酢しょうゆ大さじ2

作り方

- ①豚肉は軽く塩をふる。
- ②エノキダケは石づきを取り①の豚肉で巻く。
- ③1本ずつラップをして、蒸し器で蒸す(5~6分)。
- ④③を器に盛り、キャベツ・人参(あら切りにして、ボイルする)・プチトマトを添えて、ポン酢しょうゆをかけて出来上がり。

(食生活改善推進協議会)

アイドル登場

外で遊ぶのが大好き!

齊藤璃久くん (1歳5カ月・久能)



ご飯をいっぱい食べる我が家のアイドル璃久。チャームポイントはつぶらな瞳かな……。10カ月ごろから歩きだしましたが、今はものすごいはずらっこ。目に入るいろんなものに興味があるようです。最近、家族や他の人のまねをするようになってきました。外で遊ぶのが大好きで、特に追いかけっこが大好き。外でたくさん友達と、いっぱい、いっぱい遊ぼうね。璃久のおかげで毎日にぎやか。ちょっと騒がしいけど、明るく元気に育ってほしいと思います。

(父：浩司さん、母：直美さん)

博物館 ニュース

雪華初物嚙

わがまち古河では、「日本初」とか「わが国最初の……」と形容される歴史にしばしば遭遇しますが、古河城主の土井利位(1789~1848)が著した『雪華図説』もそのひとつ。

この本は、天保3年(1832)、日本ではじめて雪の結晶の観察成果をまとめた図鑑として上梓されました。雪の結晶の正確なスケッチ86点に加えて、20年の歳月を費やした観察の詳細な説明、雪の効能をめぐる論考等々、97種の雪華図を収録した続編とあわせて本書は、日本における自然科学書の先駆けとして歴史上高く評価されています。

ここに、『雪華図説』を科学者の視点によって客観的に評価した論考の一部を紹介しておきましょう。



▲国重要文化財「雪華文時絵印籠」当館蔵

それに劣らぬ立派なものであると思つてゐる」。

引用したのは、「『雪華図説』の研究」という論考の一部で、著者は、世界的な雪氷学者として普く知られる中谷宇吉郎博士(1900~1962)です。昭和5年、北海道大学に赴任した博士は、この新天地で、その後のライフワークとなる研究テーマに巡り会いました。すなわち、顕微鏡に覗く雪の結晶の美しさに惹かれた博士は、雪を対象とした学問に取り組みはじめます。十勝岳や大雪山の山小屋に籠もり観察を続け、氷点下の世界で三千枚に及ぶ写真を撮り続けました。

やがて、この観察に限界を感じた博士は、人工的に雪の結晶を生成させて、結晶に隠された秘密を解き明かしたいと考えるようになります。幾たびもの試行錯誤と失敗を重ねながら、昭和11年、世界初の人工雪を誕生させることに成功したのでした。

日本最初の雪の科学書から世界初の人工雪生成へ、土井利位の雪華研究における情熱と理念は、正しく中谷博士に受け継がれたといっても決して大げさではないでしょう。(冬のテーマ展「雪の殿さま 土井利位」は1月5日~2月25日)

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

平成19年1月1日発行 ●発行所/〒3061029 茨城県古河市下大野2248 古河市役所 ☎0280(92)3111 ●編集所/秘書広報課 ●ホームページ/ <http://www.city.futaba.lg.jp>